

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社三菱ケミカルホールディングス（証券コード:4188）

【据置】

長期発行体格付	A +
格付の見通し	安定的
債券格付	A +
発行登録債予備格付	A +

格付事由

- (1) 国内最大の総合化学グループの持株会社。グループは三菱化学、三菱樹脂、三菱レイヨンの化学系3社のほか、田辺三菱製薬、大陽日酸などの化学・医薬品業界の有力メーカーで構成される。田辺三菱製薬、大陽日酸は上場会社であるため一定の独立性があるが、両社を含め各事業会社はグループ戦略を共有している。持株会社によるグループガバナンス状況などを踏まえ、格付にはグループ全体の信用力を反映させている。なお、化学系3社は17年4月に統合され、三菱ケミカルとして発足予定。これに伴って3社の事業部門を再編し、自動車・航空機やパッケージング・ラベル・フィルム、IT・エレクトロニクスディスプレイなど成長市場へのアクセスを強化していく方針となっている。
- (2) 構造改革の進展などで収益の安定性が向上してきている。不振のテレフタル酸は16/3期にインドおよび中国子会社の固定資産減損処理が行われ、今期に株式譲渡が実施された。これにより、国内石油化学を含めた素材分野の事業再構築が一巡。また、大陽日酸の連結子会社化（14年11月）もあって安定収益部分が厚みを増している。広範な技術領域などを背景とする事業基盤は強固で、当面、これが損なわれる可能性は小さい。有利子負債には削減の余地があるが、キャッシュフロー創出力の向上を背景に中期的に財務構成の改善が進むとJCRでは想定している。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) 17/3期コア営業利益（IFRS）は2,970億円と、前期（16/3期3,004億円）並みの収益を確保できる見通し。前期比での円高やエチレンプラントトラブルなどが響くが、ディスプレイ向けフィルムの好調や大陽日酸の海外収益拡大、MMAの採算向上などがプラス要因となる見込み。足元では原材料価格が上昇に転じているほか、為替動向も不透明感が強まっている。ただ、事業体質が改善・強化されてきたことで、当面、収益は堅調に推移すると考えられる。なお、ヘルスケアの有力な収益源であるジレニア（多発性硬化症治療剤）は19年に米国特許が満了する。本件への対応が今後の大きな注目点の一つである。
- (4) グループ各社で事業基盤強化に向けた投資が行われており、有利子負債は1兆円台半ばの状況が続いている。一方、利益蓄積の進展で自己資本（親会社の所有者に帰属する持分）も1兆円台に達している。17/3期第3四半期末ネットDERは1.15倍と、現状で財務構成は懸念するほどの水準ではない。三菱ケミカル発足に伴う成長戦略の強化で、現中計（17/3期～21/3期）の投資支出は当初の総額1.5兆円から、最大で2,000億円程度の上積みが行われる見込み。ただ、同計画では財務体質強化も重要なテーマとなっている。このため、投資増額分は資産売却などで手当てしていく予定となっている。

（担当） 涛岡 由典・藤田 剛志

格付対象

発行体：株式会社三菱ケミカルホールディングス

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
三菱化学株式会社第 37 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2008 年 8 月 12 日	2018 年 8 月 10 日	2.03%	A+
三菱化学株式会社第 38 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2009 年 8 月 13 日	2019 年 8 月 13 日	2.02%	A+
三菱樹脂株式会社第 6 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50 億円	2009 年 9 月 24 日	2019 年 9 月 24 日	1.94%	A+
第 2 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2011 年 9 月 12 日	2021 年 9 月 10 日	1.204%	A+
第 3 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150 億円	2012 年 7 月 26 日	2017 年 7 月 26 日	0.366%	A+
第 4 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2012 年 7 月 26 日	2019 年 7 月 26 日	0.556%	A+
第 5 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150 億円	2012 年 12 月 12 日	2017 年 12 月 12 日	0.439%	A+
第 6 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2012 年 12 月 12 日	2019 年 12 月 12 日	0.665%	A+
第 7 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2013 年 6 月 4 日	2018 年 6 月 4 日	0.615%	A+
第 8 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2013 年 6 月 4 日	2020 年 6 月 4 日	0.948%	A+
第 9 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2013 年 6 月 4 日	2023 年 6 月 2 日	1.226%	A+
第 10 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2013 年 12 月 12 日	2018 年 12 月 12 日	0.319%	A+
第 11 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150 億円	2013 年 12 月 12 日	2020 年 12 月 11 日	0.604%	A+
第 12 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150 億円	2013 年 12 月 12 日	2023 年 12 月 12 日	0.918%	A+
第 13 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	250 億円	2014 年 6 月 17 日	2019 年 6 月 17 日	0.319%	A+
第 14 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150 億円	2014 年 6 月 17 日	2021 年 6 月 17 日	0.482%	A+
第 15 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150 億円	2014 年 6 月 17 日	2024 年 6 月 17 日	0.800%	A+
第 16 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2015 年 6 月 4 日	2022 年 6 月 3 日	0.433%	A+
第 17 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2015 年 6 月 4 日	2025 年 6 月 4 日	0.755%	A+
第 18 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2015 年 12 月 3 日	2020 年 12 月 3 日	0.281%	A+
第 19 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2015 年 12 月 3 日	2022 年 12 月 2 日	0.476%	A+
第 20 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2015 年 12 月 3 日	2025 年 12 月 3 日	0.711%	A+
第 21 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2016 年 6 月 9 日	2021 年 6 月 9 日	0.120%	A+
第 22 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2016 年 6 月 9 日	2026 年 6 月 9 日	0.320%	A+
第 23 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2016 年 6 月 9 日	2036 年 6 月 9 日	0.850%	A+
対象	発行予定額	発行予定期間		予備格付	
発行登録債	4,000 億円	2016 年 9 月 1 日から 2 年間		A+	

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2017年2月14日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：島田 卓郎
主任格付アナリスト：澁岡 由典
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）「化学」（2012年3月26日）「持株会社の格付方法」（2015年1月26日）「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付けの視点」（2003年7月1日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） 株式会社三菱ケミカルホールディングス
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

用語解説

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル